

安倍内閣支持率、遂に30%を切る！

NNNの4月13(金)～4月15日(日)までの世論調査(世帯数:1952 回答数:772 回答率:39.54%)で、遂に安倍内閣の支持率は26.7%と、30%を割り込みました。また、NNN、朝日新聞、共同通信では、安倍内閣の不支持率は50%を超えています。

土俵際まで追い込んで来ました。もう一步です。「五大重大疑惑」の徹底した追及をもとめる行動を広げるとともに、3000万人署名を成功させて、安倍政権を退陣に追い込みましょう。

(1) NNNの世論調査

[問1] あなたは、安倍晋三連立内閣を支持しますか、支持しませんか？

(1) 支持する 26.7% (2) 支持しない 53.4% (3) わからない、答えない 20.0%

[問2] [問1で「(1) 支持する」と答えた方へ] 安倍内閣を支持する理由は何ですか？

(1) 安倍総理の人柄が信頼できるから 11.2%
(2) 閣僚の顔ぶれに期待がもてるから 1.0% (3) 支持する政党の内閣だから 14.6%
(4) 政策に期待がもてるから 10.7% (5) 他に代わる人がいないから 51.9%
(6) 特に理由はない 6.8% (7) その他 1.9%
(8) わからない、答えない 1.9%

(2) 他の世論調査での安倍内閣の支持率

	支持	不支持
時事通信 (6～9日)	38.4 (0.9減)	42.6 (2.2増)
共同通信 (14・15日)	37.0 (5.4減)	52.6%
朝日新聞 (14・15日)	31 (同)	52% (48%)
NNN (13～15日)	26.7 (3.6減)	53.4 (0.4増)



(3) 加計学園「首相案件」文書について

首相説明	共同通信	納得できない 79.4%	納得できる 13.2%
	朝日新聞	納得できない 76%	納得できる 14%
柳瀬氏の証人喚問	共同通信	必要 66.3%	不要 27.6%
	朝日新聞	必要 72%	不要 19%
	NNN	必要 67.0%	不要 19.2%

治維法国賠同盟 50周年レセプション開催！

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の創立50周年記念レセプションが16日、都内で開催され、全国から180人が参加しました。

増本一彦会長は、あいさつで治安維持法による検挙者、拷問による明らかな虐殺死者、予防拘禁や転向を強要された人など数十万人におよぶ犠牲の実態にふれ、「このような多大な犠牲を払いつつ、侵略戦争に反対し、平和と民主主義、基本的人権の礎を築いてきた。安倍政権の反動と逆流、暴虐政治を終わらせるため、全国津々浦々に組織を広げて奮闘する決意です」と訴えました。

日本国民救援会の鈴木亜英会長は「安倍9条改悪のたくらみを断念させるまで共同の歩みが続ける」と訴えました。自由法曹団の西田稯事務局長は、「現代版治安維持法」といわれる共謀罪の悪用を許さず、取り組んでいきたいと述べました。

日本共産党の市田忠義副委員長はあいさつで「犠牲者に対する一日も早い謝罪と賠償のための特別法を制定することは国会に課せられた重要な課題であります」と述べ、党として全力をあげる決意を表明。「安倍政権の土台を揺るがす大激動の今こそ市民と野党が共闘し、世論と運動の力で安倍内閣を退場に追い込もう」と力を込めました。

参院会派「沖縄の風」の糸数慶子議員もあいさつしました。

各地のとらえかみ

鳥取 「安倍改憲を許さないための東部会議」が署名運動の交流開催

3000万人署名を推進する鳥取県東部の「安倍改憲を許さないための東部会議」が11日、鳥取市で開催されました。会議は毎月開かれ、憲法改悪反対鳥取県共同センターの参加団体と安法制に反対する会、9条の会も参加して署名の経験交流、統一行動の具体化などを話し合っています。

事務局から4月1日の時点での署名の到達が全県で約1万2000人、うち東部で約8500人と報告されました。参加者は、目標達成には相当の奮闘が必要だが、安倍政権が森友・加計問題などで追い詰められるなか、今こそ3000万人署名が安倍改憲を阻止する上でも重要だと話し合いました。

気高9条の会の代表は安法制に反対する気高の会とともに約540人分の署名を集めた経験を紹介。一人ひとりが結びつきをいかして署名を集め、今度は返信用封筒と署名用紙、ビラをセットに配布して、3000人の目標を達成したいと語りました。

安法制に反対する未垣の会は地域ローラー作戦に取り組み、約450人分集めたと報告しました。

青森 「安倍を土俵際まで追い込んでいる。皆の力で押し出そう」とデモ

「隠ぺい、改ざん許さない。安倍政権を止めるのは私たちの責任です。みんなの力で政治を変えよう」一。青森市内で13日昼に開かれた「安倍内閣退陣！安倍改憲阻止！」を求める青森市民集会・パレードに参加した130人の声が街に響き渡りました。

首相官邸前抗議に連帯し、県九条の会、日本共産党、社民党など12団体が主催しました。

市内在住の会社員の男性（28）は、有休をとって集会に参加しました。「もう安倍首相案件がいっぱいありすぎ。『安倍は辞めろ』と自分の思いを表現したい」と語りました。

集会のリレースピーチした、新婦人青森支部の坂本麻衣子事務局長は「私は子どもたちにウソをついちゃダメと教えているが、この国の代表たちは、ウソをつく。ズルをする。ごまかす。許されない。子どもたちのために安倍政権辞めさせなければいけない」と訴えました。

集会後のパレードでは、歩をすすめるごとに参加者のコールがそろい、「みんなの政治を私物化するな、安倍は辞めろ」の大コールとなりました。

参加した男性（35）は、「安倍政権を土俵際まで追い込んでいる。みんなの力で押し出したい」と話しました。

旭川 日本婦人の会旭川支部 3000万人署名レッドアクションに取り組む

新日本婦人の会旭川支部は、このほど、安倍9条改憲反対3000万人署名を集めようと、レッドアクションを市内繁華街で行いました。



旭川・5月3日行動案内

16人が参加。準備中に80代の女性が「署名はどちらの政党ですか」と近づいてきました。「政党ではなく、女性団体です」と伝えると、女性は「私は、どちらかと言えば共産党を応援しているんです」と署名しました。

この日、黄色のボードに「憲法を守らなければいけない人は誰」とシール投票を呼びかけました。4拓で①大臣、②国会議員、③国民、④公務員一。学生や若者に質問したところ、国民と思っている人が多く、貼った後、回答番号と説明をすると、署名した学生も。新婦人が作製した憲法ミニ冊子を手渡しました。

旭川支部は「今やらないでいつやるの」と3月から毎週土曜のレッドアクションを再開し、独自の行動も次々予定しています。